

原子力開発機構除染事業

松江の処理会社採択

福島で実施

福島県で効果的に除染を進めるため、独立行政法人・日本原子力開発機構(茨城県)が全国公募していた除染技術実証試験事業に、松江市富士見町の排水処理会社「ネオナイト」の除染事業が9日、採択された。

同機構は、優れた除染事業を10月に全国公募。約300件の応募があり、同社など25社の事業を採択した。

ネオナイトは、島根県産ゼオライトを使い、放射性セシウムに汚染された小学校のプール水を除染。福島

県いわき市産の珪藻土と混ぜ、現地で新しい水質浄化剤の製造も行っている。

採択された事業は、現地で製造した水質浄化剤を使い、いわき市などで木材の除染を進め、出荷できるようにする。福島県木材協同組合連合会や地元企業も協力。今月下旬から取りかかり、来年2月頃までに同開発機構に結果を報告する。

同社は「島根発の技術で効果的に除染し、福島県の復興に貢献できれば」と意気込んでいる。

(佐藤祐理)